

# 第 2 期

洞 爺 湖 町

まち・ひと・しごと創生

総 合 戦 略

【骨子案】

## 【目次】

### 1. 策定の考え方

1-1	策定の趣旨	1
1-2	総合戦略の位置づけ	1
1-3	総合計画と総合戦略の関係	1
1-4	国、北海道の戦略との関係	3
	(1)国の総合戦略の基本的考え方	3
	(2)北海道の総合戦略の基本的考え方	4
1-5	将来人口	5
1-6	第1期戦略の検証	6
1-7	総合戦略の理念	7
1-8	対象期間	7

### 2. 今後の施策の方向

2-1	基本方針	8
	(1)政策5原則をふまえた施策展開	8
	(2)取組の推進体制	8
	(3)客観的な効果検証等と実施	8
2-2	施策の基本目標(実現すべき成果に係る数値目標)と基本方向	9
	(1)基本目標1	9
	特色ある地域資源を生かした元気産業から雇用創出を図る。	
	【しごとづくりと働きやすい環境】	
	(2)基本目標2	10
	美しい環境を生かした新しい人の流れを創造する。	
	【ひとの流れづくりとつながりの強化】	
	(3)基本目標3	11
	自然豊かなまちの魅力を生かし、結婚・出産・子育ての希望をかなえる。	
	【出産・子育て・教育支援の充実】	
	(4)基本目標4	12
	特色ある地域をつくり、安心な暮らしを守るために必要な連携を強化する。	
	【安心のある暮らしづくり】	

## 1. 策定の考え方

### 1-1 策定の趣旨

我が国における人口減少や急速な少子高齢化に的確に対応し、特に地方の人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的として、2014年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。この法律において、市町村は地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策の基本的な計画を定めるよう努めなければならないこととしています。

洞爺湖町においても、現在の人口が2060年にはおよそ3分の1に減少するとの推計に危機感をもち、2015年（平成27年）10月に「洞爺湖町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「2040年に6,800人、2060年に5,500人の人口の維持」に向けて、雇用の創出といつまでも住み続けたいと思える生活環境の創造を推進し、人口減少の克服と将来に向けた成長力確保の取組を継続的に実施してきました。

対象期間の満了を迎え、まちの状況を振り返ると、インバウンドの増加による観光業の活況や新たな福祉施設の進出などの新たな雇用の場が生まれてはいるものの、人口流出に歯止めがかかるまでには至っておらず、出生数も伸び悩む状況が続いています。また、高齢化による移動手段やコミュニティの担い手不足など、新たな課題も表面化しています。

このことから、人口減少時代にあっても、将来にわたって活力あるまちとなるため、長期的な視点に立って切れ目なく粘り強く人口減少対策を進めるべく、「第2期洞爺湖町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

### 1-2 総合戦略の位置づけ

本戦略は、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定するものであり、国及び北海道の総合戦略をふまえ、洞爺湖町人口ビジョンに掲げる将来人口に向かって、基本目標や具体的な施策等を設定するものです。

### 1-3 総合計画と総合戦略の関係

本戦略は、「第2期洞爺湖町まちづくり総合計画」に掲げる将来都市像「海湖<sup>うみ</sup>と火山と緑の大地が結びあい元気をつくる交流のまち」実現に向けた施策と連携し、「人口減少の抑制」と「雇用創出による好循環の確立」に向け重点的、一体的に推進する取組をまとめたものです。

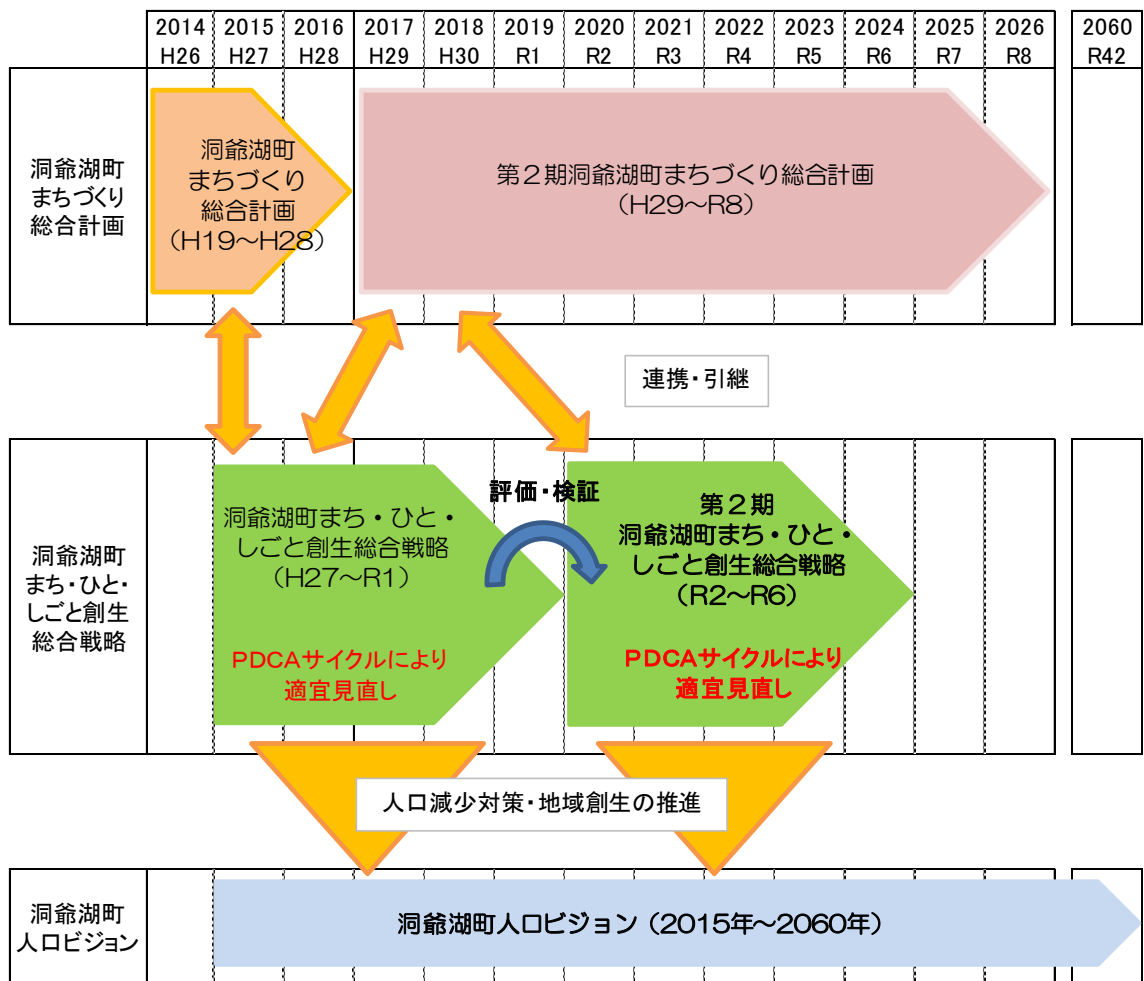


図 1-1 まちづくり総合計画と総合戦略・人口ビジョンの関係性

## 1-4 国、北海道の戦略との関係

国・北海道が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）等をもとに、洞爺湖町における人口減少と地域経済縮小の克服、都市部への人口の集中の是正によるまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指します。

### （1）国の総合戦略の基本的考え方

#### ① 目指すべき将来

##### 1. 将来にわたって「活力ある地域社会」の実現

###### ①人口減少を和らげる

- ・結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・魅力を育み、ひとが集う

###### ②地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する

###### ③人口減少に適応した地域をつくる

##### 2. 「東京圏への一極集中」の是正

#### ② 多様なアプローチによるまち・ひと・しごとの好循環の確立

「しごと」起点のアプローチに加え、地域の特性に応じて、「ひと」起点、「まち」起点の多様なアプローチを柔軟に行い、まち・ひと・しごとの好循環をつくりだす

- ・地域経済の活性化、産業の高付加価値化等による「しごとの創生」
- ・地方就労の促進や移住定住促進等による「ひとの創生」
- ・安心できる暮らしの確保や都市のコンパクト化、広域連携等による「まちの創生」

#### ③ 国の総合戦略における施策の方向性(基本目標と横断的目標)

##### 【基本目標】

1. 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

##### 【横断的目標】

1. 多様な人材の活躍を推進する
2. 新しい時代の流れを力にする

## (2) 北海道の総合戦略(原案)の基本的考え方

### ① 取組の基本方向

- ・一人ひとりの希望をかなえる
- ・安心して暮らせる豊かな地域をつくる
- ・活力ある産業・雇用をつくる
- ・多様な連携により地域の活力をつくる

### ② 基本方針

1. 基本認識の共有と全員参加
2. 市町村戦略との一体的推進
3. 札幌市との連携強化
4. 民間との連携・協働
5. 分野横断的な政策展開
6. 施策の重点化

### ③ 重点戦略プロジェクト:特に重点的に進めていくべきテーマ

1. 「心豊かに・北海道暮らし」プロジェクト
2. 「磨き高め輝く・北海道価値」プロジェクト
3. 「未来をけん引・北海道人」プロジェクト
4. 「北海道らしい関係人口の創出・拡大」プロジェクト
5. 「北海道 Society5.0」プロジェクト

### ④ 基本戦略:総合的に施策を推進する5つの柱

1. 一人ひとりの希望がかない、誰もが活躍できる社会
2. 人口減少下においても、幸せに暮らし続けることのできる社会
3. 北海道の優位性・独自性を活かして経済・産業が活性化し、いきいきと働ける社会
4. 北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会
5. 地域創生を支える多様な連携

### ⑤ 地域戦略(胆振地域の主な施策):

#### 振興局が中心となって進める施策の基本的な方向性(胆振地域)

- ・交流人口及び関係人口の創出・拡大に向けた官民連携による地域資源の活用
- ・胆振の強みを活かした産業の振興と担い手の確保・育成
- ・胆振東部地震からの着実な復旧と未来へつなぐ復興の推進

## 1-5 将来人口

洞爺湖町人口ビジョンにより、総合戦略で目指す総人口の長期展望は（洞爺湖町独自推計）、合計特殊出生率<sup>1</sup>が現状の1.25から、2020年（令和2年）以降1.40を維持し、純移動率が2040年（令和22年）までに均衡すると仮定した場合、2040年の総人口が6,302人、2060年（令和42年）の総人口が4,524人となり、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）の推計と比較し、人口減少を大幅に抑える見込みとなっています。

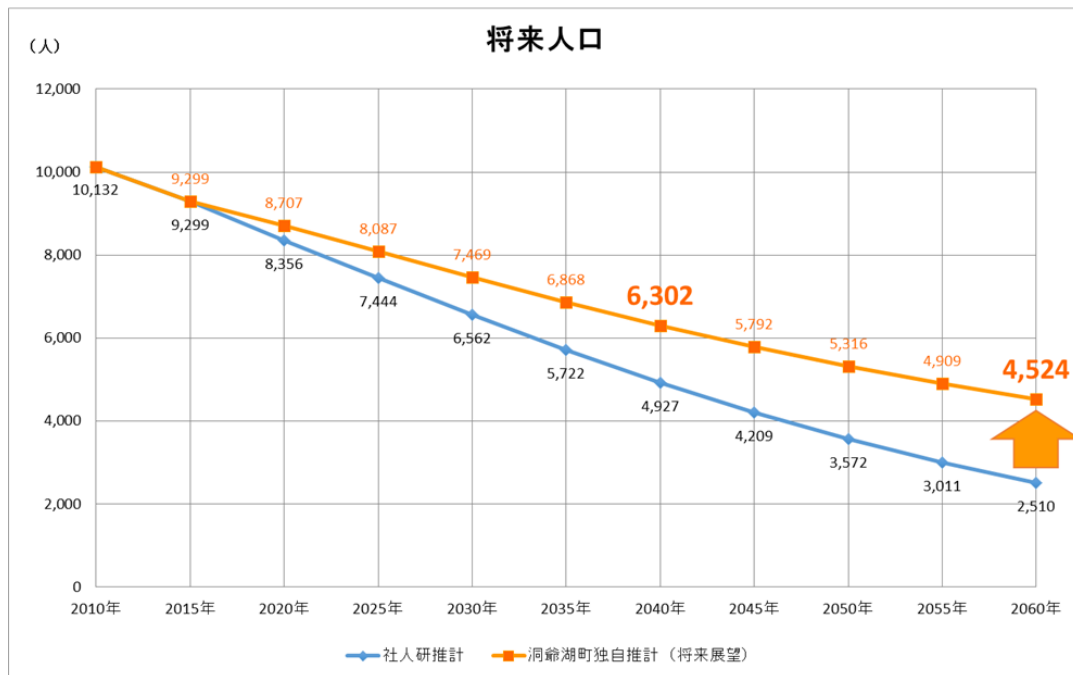
### ◆人口推計のパターン

#### 【洞爺湖町独自推計】

合計特殊出生率は直近の値（1.25）が、2020年（令和2年）以降1.40を維持し、純移動率が2040年（令和22年）までに均衡すると仮定し、さらにその傾向が今後も継続すると仮定し、2060年（令和42年）まで推計した場合。

#### 【社人研推計準拠】

2040年（令和22年）までの出生・死亡・移動等の傾向がその後も継続すると仮定して、2060年（令和42年）まで推計した場合。



資料：洞爺湖町人口ビジョン

図 1-2 将来人口の見通し

## 1-6 第1期戦略の検証

人口減少の抑制と雇用の創出による好循環の確立に重点を置いて取り組んできた結果、戦略策定当初よりも転出超過数が減少し、合計特殊出生率、総人口においても、国立社会保障・人口問題研究所の推計値よりも改善がみられます。

また、宿泊客数の回復や新たな事業所の開業などのほか、第1期総合戦略における取組については、重要業績評価指標（KPI）としては目標を達成もしくは概ね達成する見込みであることから、継続して事業を推進するとの評価となっており、一定の成果があったと考えられます。

一方、基本目標及び目標項目をみると、KPIの達成による成果はあるものの、基本目標及び目標項目の達成や人口減少抑制への結びつきが弱いことがみられます。

「しごと」や「人の流れ」においてはある程度達成の見込みとなっていますが、「しごと」「人の流れ」がいい方向にある反面、労働力不足や転入増加・転出抑制まで転ずる状況にはなっていません。

また、「出産・子育て・教育」においては、各種サービス等による満足度の高まりはあるものの、学力水準向上や教育環境の充実などの課題もあり、出生数は目標まで達せず、年少人口は減少を続けています。

「まちづくり」においても、広域連携による施策の実施や防災体制の整備などが進められ一定の成果は見られるものの、高齢化による移動手段の確保や地域の人材不足など、新たな課題も発生しています。

### 基本目標1 特色ある地域資源を生かした元気産業から雇用創出を図る

- 主要産業である観光業や福祉産業などの開業等もあり新たな雇用が生まれたほか、チャレンジショップ等による出店も継続されており、一定の成果はあった。
- 一方で、しごと・働く場はあるものの、働き手の不足や高齢化、安心して働けるしごと環境への若者の不安など、将来的な雇用が懸念される。
- 労働力不足を補てんするとともに、インバウンドへの対応等のため、外国人労働者の雇用も増加しており、外国人労働者の家族を含めた受入態勢の構築が望まれる。

### 基本目標2 美しい環境を生かした新しい人の流れを創造する

- プロモーションの実施やインバウンドの増加などによる交流人口の増加・回復や、チャレンジショップや移住施策を活用した移住・定住者が生まれたほか、新しい店や人の繋がりを求めた人の動きもみられる。
- ふるさと納税等を通じて、洞爺湖町との繋がりが生まれている。
- 一定の転入はあるものの、転出を上回るまでには至っていない。



### 基本目標3 自然豊かなまちの魅力を生かし、結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 子育て支援策の実施により子育て世代の満足度は高いが、出生数は伸び悩んでいる。
- 子育て施策の優位性等について、あまり知られていない。
- 結婚、出産、子育てをしたいと思える生活基盤（経済面、生活面等）の安定が必要。

### 基本目標4 特色ある地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ジオパークや縄文のほか、定住自立圏などの広域連携による役割分担や補完により、町単独では実施が困難な取り組みや協力体制が構築されている。
- 高齢化や人口減少により、地域を支えるなり手の不足や交通手段など、生活にかかわる新たな課題が表面化している。

以上をふまえ、これまでの取組を礎として、新たな視点を加えて施策を進めることとします。

## 1-7 総合戦略の理念

洞爺湖町の魅力と地域資源を生かしながら雇用の創出により定住・移住を促進するとともに、結婚・出産・子育て環境の改善を図ります。さらに海・湖・山等の自然環境や温泉等の地域の特性を生かした産業の活性化と住みよい環境の構築に向けて、町民や産業団体、他市町村等の連携を図ります。

以上のことから洞爺湖町における総合戦略の理念として、以下の2つを定めます。

理念1：

「地域の魅力を生かした元気産業が生み出す雇用と  
いつまでも住み続けたいと思える生活環境の創造」

理念2：

「特色ある資源を活用した地域づくりと  
関わりをもつひととの連携」

## 1-8 対象期間

- ・総合戦略の対象期間は、2020年度から2024年度までの5年間とします。

## 2. 今後の施策の方向

### 2-1 基本方針

総合戦略に掲げる施策は、総合戦略の理念に基づきながら、次の方針に基づいて推進します。

#### (1) 国が掲げる政策5原則をふまえた施策展開

「まち・ひと・しごと創生」に向けて国が掲げた政策5原則をしっかりと受け止めながら、施策を展開します。

- ①自立性・・・自治体、民間事業者、個人等の自立につながる施策
- ②将来性・・・一過性にとどまらず、次世代にわたり希望のある暮らしにつながる施策
- ③地域性・・・洞爺湖町ならではの強み、弱み、特性をふまえた自主的かつ主体的な施策
- ④総合性・・・多様な主体や地域、施策との連携等による総合的な施策かつ最大限の成果をあげるための施策の重点化
- ⑤結果重視・・・取組と結果の可視化による検証と改善を実施

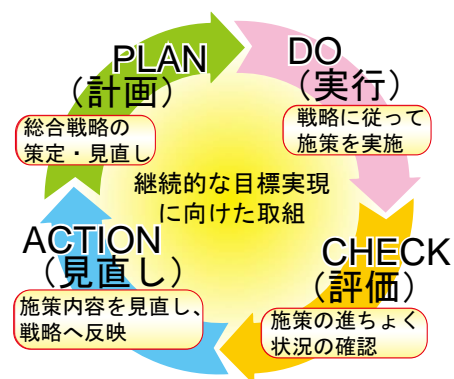
#### (2) 取組の推進体制

目標の達成に向けては、各産業界、事業者、生産者等による働きやすい雇用環境向上への取組や活性化を促進するほか、町民等による日常生活や活動における主体的な地域との関わりを促進するとともに、行政においては各取組に対する支援や環境整備を行うなど、それぞれが役割を持って、双方に効果を生み出す取組を連携して推進します。

#### (3) 客観的な効果検証等の実施

各数値目標等をもとに、PDCAサイクルにより、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を見直します。

検証に際しては、その妥当性・客観性を担保するため、外部有識者で構成される洞爺湖町まち・ひと・しごと創生有識者会議を活用するとともに、町と町議会が車の両輪となって推進されるよう十分な審議を経るものとします。



## 2-2 施策の基本目標(実現すべき成果に係る数値目標)と基本的方向

### (1) 基本目標1:

特色ある地域資源を生かした元気産業から雇用創出を図る。

### 【しごとづくりと働きやすい環境】

#### ■基本的方向

- 農水産物の安定供給を図るとともに、商工業も含め、地域ブランドの確立や安定した販路の構築、設備の導入等により、価格変動や景気に左右されない経営基盤の強化を図ります。
- 従業員数がツインタワーとなっている観光業と医療・福祉産業のほか、様々な業種においても、雇用条件の向上が図られ若者等の安定した就業と生活につながるよう、地元産業・企業等の活性化を促進します。
- 企業誘致や新たな出店の促進により、魅力ある雇用の場の創出に取り組みます。
- 働き手を確保するため、外国人が就業しやすい体制を整えるとともに、若者から外国人、高齢者など多様な人材の就業と育成を促進します。

#### ■数値目標

目標項目	基準値	目標値
① 生産年齢人口の増加		※検討中

〔指標の出典〕

#### 具体的な施策と客観的な重要業績評価指標(KPI)

具体的な施策・事業	重要業績評価指標(KPI)
<b>①起業・開業を促進</b> (事業内容) ※検討中 ・企業誘致の支援 ・空き店舗を活用した起業支援 など	※検討中
<b>②安心して働ける産業の底上げ支援</b> (事業内容) ※検討中 ・各産業の経営安定等の支援 ・設備投資、未来技術等導入の促進 ・安定した販路の構築 ・地域ブランド、認知度の確立 ・新商品、観光プログラム等の開発支援 など	※検討中

具体的な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
<b>③多様な人材が活躍できる環境整備、支援の充実</b> （事業内容） ※検討中 ・外国人等の就業環境の構築・支援 ・地元企業への就職促進 ・就業者のスキルアップと人材育成 など	※検討中

## （２）基本目標２：

美しい環境を生かした新しいひとの流れを創造する。

### 【ひとの流れづくりとつながりの強化】

#### ■基本的方向

- 市民が愛着と誇りを持つまちの優れた「食」や「自然」、「歴史・文化」への関心を高め、住みたいと思える魅力的なまちを創造します。
- 長く住み続けるための住環境の改善や、移住につなげる情報提供・支援を継続し、定住・移住を促進します。
- 自然環境とのつながりを意識・配慮した国内外から多くの人々が訪れる国際的滞在型観光の形成を推進し、交流人口の拡大を図ります。
- 洞爺湖町との関わりのある人や企業等のつながりを生かし、まちの活性化につなげます。

#### ■数値目標

目標項目	基準値	目標値
① 転出超過の解消		※検討中
② 観光客入込数の増加		※検討中

〔指標の出典〕

#### ■具体的な施策と客観的な重要業績評価指標（KPI）

具体的な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
<b>①移住したい、定住を続けたいに応える</b> （事業内容） ※検討中 ・移住希望へのサポート（ワンストップ窓口、空き家バンク、情報提供等） ・住環境の改善支援（住宅リフォーム支援） など	※検討中

具体的な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
<b>②洞爺湖町とのつながりを強化</b> （事業内容） ※検討中 ・ふるさと納税・情報発信を通じた関係の構築 ・大学等と連携した取組の実施 ・都市部の人材・企業等の活用（地域おこし協力隊等） など	※検討中
<b>③景観・環境とのつながりを意識した資源の磨き上げ</b> （事業内容） ※検討中 ・景観、自然環境を意識した取組の推進（意識啓発、環境整備） ・自然との共生や景観への理解を深める施設等の整備（観光施設、温泉等） ・ジオパーク、縄文遺跡群等の活用 など	※検討中

### （3）基本目標3：

自然豊かなまちの魅力を生かし、結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

#### 【出産・子育て・教育支援の充実】

#### ■基本的方向

- 子育て世代への経済的支援や相談体制等の継続・拡充のほか、女性が社会参加しやすい環境づくりを進めるなど、子育てに関する負担や悩みを軽減することで、子育てや生活への希望をはぐくみ、かなえます。
- 様々な活動を通じた出会いのきっかけを創出するとともに、出産しやすい環境づくりを進めます。
- 学校・家庭・地域と連携した学習環境づくりを基本として、子どもたちの「確かな学力」、「社会で生きる実践的な力」、「豊かな心と健やかな体」の育成に向けた取組を継続します。
- 子どもたちが落ち着いて学習に取り組める学校環境を向上するとともに、学校以外の学習や体験の場を創出します。

#### ■数値目標

目標項目	基準値	目標値
① 年少人口の減少抑制		※検討中

〔指標の出典〕

## ■具体的な施策と客観的な重要業績評価指標(KPI)

具体的な施策・事業	重要業績評価指標(KPI)
<p><b>①出産・子育てに対する支援策の充実</b>            (事業内容) ※検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出会いの場の創出(イベントの支援等)</li> <li>・出産支援(不妊治療費助成、出産祝金支給、精神的負担の軽減等)</li> <li>・子育て負担の軽減(相談体制、経済的負担の軽減等)</li> <li>・子どもの健康(乳幼児医療費の無料化、検査・予防接種費用助成等)</li> <li>・仕事と子育ての両立支援</li> <li>・子ども担当窓口、情報発信の強化 など</li> </ul>	<p style="text-align: center;">※検討中</p>
<p><b>②意欲が向上する学びの充実</b>            (事業内容) ※検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの機会(学習、スポーツ、文化等)と学習環境の充実</li> <li>・虻田高校の魅力向上</li> <li>・まちの魅力や歴史、職業等を学ぶ機会の創出</li> <li>・外国人児童生徒の受入態勢の整備</li> <li>・進学希望への支援 など</li> </ul>	<p style="text-align: center;">※検討中</p>

### (4) 基本目標4:

特色のある地域をつくり、安心な暮らしを守るために必要な連携を強化する。

#### 【安心のある暮らしづくり】

### ■基本的方向

- 交通ネットワークの再構築や施設等の近接化による生活環境の向上のほか、町民が気軽に集い、人とのつながりや安心を感じられる環境整備や活動等により、暮らしやすい地域をつくります。
- 次期噴火や津波、豪雨災害等に備え、「自助」「共助」「公助」体制を構築し、地域と連携した災害に強いまちをつくります。
- 充実した医療福祉体制を維持するとともに、「食」や「運動」、「病気の早期治療」や「認知症の予防と対応」などへの関心を高めることで、元気に暮らす人を増やします。
- 他市町村や地域との連携を推進し、圏域全体で魅力の向上や、医療や防災、産業・観光等の分野における機能の充実を図ります。

## ■数値目標

目標項目	基準値	目標値
① 地域活動に参加する住民の増加		※検討中

〔指標の出典〕

## ■具体的な施策と客観的な重要業績評価指標(KPI)

具体的な施策・事業	重要業績評価指標(KPI)
<b>①安全・安心な暮らしの実現</b> (事業内容) ※検討中 ・交通体系の改善 ・防災体制の充実(自主防災組織設立促進、防災資機材等の整備、意識啓発等) ・まちなか環境の整備(道路、照明等) ・健康づくりの推進と安心の医療福祉体制の構築 など	※検討中
<b>②地域住民のつながりの強化</b> (事業内容) ※検討中 ・気軽に集える居場所づくり(地域食堂、活動・交流拠点の整備等) ・町民向けイベントの開催 ・コミュニティ、自治会活動への支援 など	※検討中
<b>③連携による圏域の魅力と機能の向上</b> (事業内容) ※検討中 ・他市町村との広域連携の推進	※検討中